



社協だより **naha** 10月号

令和5年度 赤い羽根共同募金運動、始まる。



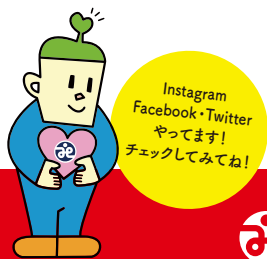
那覇市の目標額

¥39,656,000

赤い羽根共同募金運動が 10月1日～3月31日の期間実施されます。赤い羽根共同募金では、募金を実施する前に使いみちの計画をたてます。この計画に必要な資金の総額が「目標額」です。

もくじ

- | | | | |
|---------------|---------------|------------|------------|
| 赤い羽根共同募金… 1～3 | 台風6号への対応、他… 4 | 活動アラカルト… 6 | 行事カレンダー… 8 |
| じぶんの町をよくするしくみ | ワークショップ開催… 5 | 支援員募集案内… 7 | お知らせ |
| | サロン開所 | 相談窓口 | |



じぶんの町をよくするしくみ 赤い羽根共同募金

赤い羽根共同募金は、戦後からその時代の人々の生活の困りごとに合わせ、使い道が変化してきました。新型コロナウイルスの影響で交流の場が制限されていた約3年間で、“孤独”が社会問題となってきました。赤い羽根共同募金は、「人と人のつながり」を守るために、活動を続けています。高齢や貧困、障がいなど様々な生活課題による孤立をなくし誰もが安心して生活できるよう活動している人たちがいて、こうした福祉活動へ助成金を配分し、財源面でサポートすることで、活動している人たちが皆様の募金によって支えられています。自分が今、支援を必要としていなくても、ご家族やご友人、ご近所の方などきっと誰かの役に立っている、それを支えるのが「赤い羽根共同募金運動」です。今年も10月1日から3月31日までの期間、共同募金運動を行いますので、ご協力の程よろしくお祈りします。(担当：港川)



街頭募金



学童募金

スマホからも、募金できます！



個人募金・法人募金・職域募金



戸別募金

職場や学校、外出先
いろんなところで
募金の協力が
できるんだねえ〜



PICK UP 地域見守り活動

那覇市内には、見守り活動の一環として現在 56 カ所の地域見守り隊が結成されています。活動方法は様々ですが、地域の中で見守りが必要な方や様々な困りごとを抱えた方々も安心して暮らせるように地域で見守り活動しています。訪問時のアイテムとして緊急連絡先が載ったティッシュケースやティッシュを必要に応じ活用し声掛け・見守り・訪問活動等を実施に募金が使われています。

緊急医療情報キット

- かかりつけの医療機関や救急時の連絡先、服薬中のお薬の情報を専用の用紙に記入し筒に入れ冷蔵庫で保管します。
- ★緊急時、救急隊員等が迅速かつ適切な救急活動できるように情報活動をおこなうツールになります。
- ★自宅の冷蔵庫に保管して置くことで救急時及び災害時に備えるものです。



使い道をご紹介します



PICK UP

居場所支援活動



気軽にご近所付き合いの輪を広げ、安心して暮らせるコミュニティづくりを推進するために身近な居場所づくりの活動へ助成しています。

一人暮らしで家にいると話し相手がないので、みんなと顔を合わせてゆんたくできるのが、とても楽しいさあ。コロナが少しずつ落ち着いてきたから、コロナ前みたいだんだんと人数が増えてより楽しくなってます。



みんなで情報交換できるのがとても良いです。健康のことや地域の情報が入ってくるから、自分のためにもなります。また、顔見知りが増えて普段からのお付き合いも増えました。



お互いが顔を見せることで、ご近所同士の関係性が広がっています。顔が繋がれば、普段のお付き合いも増えます。こうした、活動を通してお互い様の助け合いの輪が広がっていくことが、まさに「じぶんの町をよくするしくみ」なのだ嬉しい気持ちになりますね♪



福祉教育

高齢者や障がい者の当事者講話等を通し、相互理解を深め、福祉（ふだんのくらしのしあわせ）について学ぶことをお手伝いします。



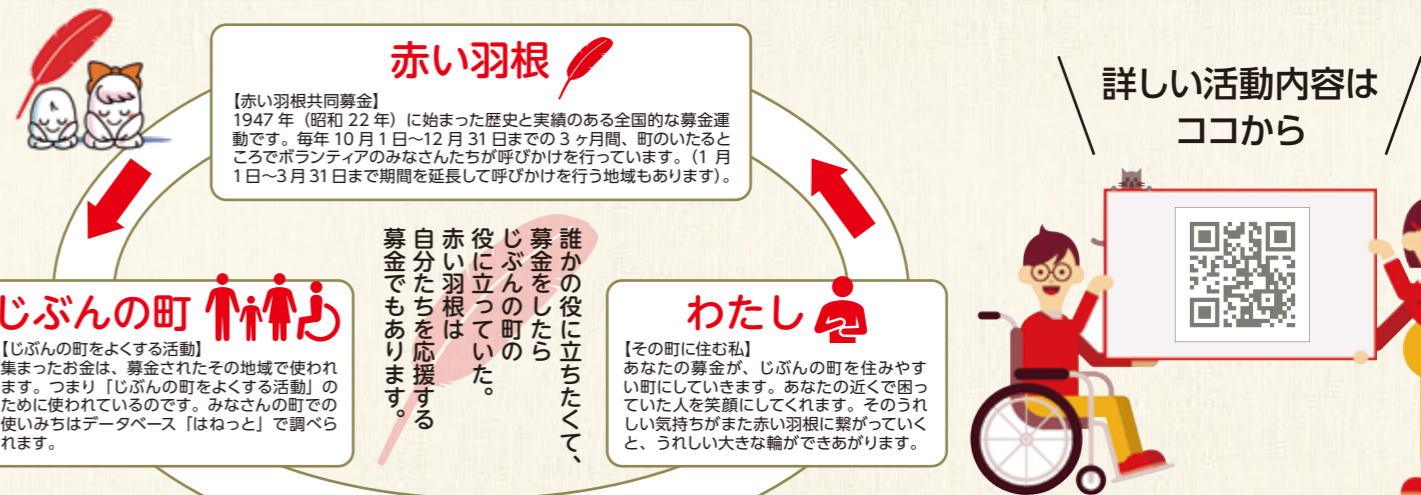
交流事業

生活に悩みを抱えた方たちを地域で孤立させないため、市内の様々な団体が交流会を実施しています。地域での繋がりができると、災害等のもしもの時の互助にもつながります。



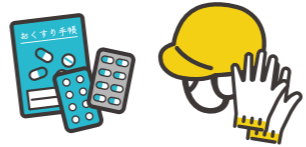
災害ボランティアセンター

大規模災害時には、赤い羽根募金の一部を、被災地の災害ボランティアセンターの運営に活用します。災害復興に寄与するボランティアさんと被災者をサポートする架け橋になります。





台風6号への対応



8月初旬にかけて沖縄地方に襲った台風6号は、長時間にわたる暴風雨により土砂災害や、長引く停電、断水など県民生活に多大な影響を与えました。那覇市社協では、台風接近前から事業が休止や延期となり、地域では気になる世帯への避難を呼びかけました。台風通過後、那覇市総合福祉センターは、配線の漏電が生じ、これまでにない長時間にわたる停電となり、事業の休止等業務に大きく影響が出ました。このような状況の中での災害ボランティアセンター設置の有無やBCP（事業継続計画）の取り組み等、後日開催した研修会では実際取り組んだ事の振り返りや今後の対応について協議し、同センターの非常電源の状況把握、日頃からの備えや行動等、改めて見直す良い機会となりました。今後は、BCP策定や研修会、防災キャンプの参加等を通して住民への食料支援、生活相談など、行政や関係機関、地域住民と連携し支援活動を検討していきます。(担当：真栄城)



地域をちょっとよくする

ワークショップが開催!



泊小、城北小、松川小、高良小の4つの小学校区で、7月から8月にかけて「地域をちょっとよくするワークショップ」が開催されました。このワークショップでは地域の良いところや課題、そして地域のために自分たちができることについて、各グループに分かれて活発な意見交換が行われました。学生から子育て世代、民生委員や自治会の方など多くの市民に来ていただき、住民同士が繋がり、自分の住む町に目を向けてもらう貴重な機会となりました。



今回集まった多様なアイデアは、那覇市と那覇市社協が協働で策定する「第5次那覇市地域福祉計画・第3次那覇市地域福祉活動計画」に反映されます。今後もささえあいのまち那覇市のために皆様のご協力をよろしくお願いいたします。(担当：高澤)



夏休み・ちょいボラ♪

那覇市ボランティア・市民活動センターでは、様々な団体からの依頼でイベント等にブースを出展することがあります。私一人で担当すると目が回る忙しさなのですが、夏休み期間中は学生のボランティアが多く参加してくれるので頼もしい限りでした♪

学生の皆様からは「日ごろは学業や部活、アルバイトとの両立などで、なかなかボランティアに割く時間が取れない」というお悩みもよく聞きますが、夏休みのちょいボラは良い機会になっているようです。

10月以降も「赤い羽根街頭募金」や「歳末おそうじ隊」など、ボランティアの募集を予定しています。那覇市社協ホームページのQRコードからボランティア情報をチェックしてくださいね。(担当：上原かおり)

ありがとうございます！



ふれあいいきいきサロン「がじゅまる」がオープン

「がじゅまる」は那覇市内で78か所目のふれあいいきいきサロン開所となります。

サロン代表の山内氏に「がじゅまる」という名前に込められた想いをお聞きしたところ「古波蔵地域の憩いの場として地域に根ざす」とお話をされました。

活動内容は、人形講師の経験を活かした手工芸やゆんたく、真和志第四民生委員児童委員OBの方も携わり、関係機関と連携して相談対応も行う予定です。温かな取り組みは、絆を深める素晴らしい活動になります。

お近くにお住まいの方は、是非お立ち寄り下さい！(担当：山城博子)



パートナーシップ協定を結びました

那覇市社会福祉協議会とネパール献血者協会日本 (Nepal blood donors association japan) は8月18日、地域活動や災害時対応で連携するパートナーシップ協定を交わしました。同協会は留学生が中心となり献血の大切さを呼びかけているボランティア団体です。

同協会とはこれまでも、コロナ禍の2022年に、在沖ネパール人を中心とした外国人留学生に対し計2回の緊急食糧支援会を行うなど、協働で課題解決に取り組んできました。これからも地域の課題に気づき、スムーズな連携ができるよう、両団体で協力していきます。(担当：上原かおり)



学校 × 地域のイベント みんなで焼きそば作り!



「コミュニティサロン太陽食堂」で7月29日(土)に神原小学校と近隣の子どもの居場所や保護者が企画して、子どもたちと一緒に焼きそばをつくるイベントを開きました。

夏休みなど長期休み明けの学校へ“行き渋り”にならずに登校できるよう、友だちや先生と交流するイベントです。

子どもたちと保護者が一緒に作り、完成した焼きそばを、みんなで楽しくいただくことができました♪太陽食堂は普段、子どもの居場所になっています。誰でも利用可能なのでみなさん遊びに来てください。(担当：山城瑞穂)

生活支援訪問型サービス従事者養成研修 受講生 大募集!!

「生活支援訪問型サービス」は、掃除・洗濯等の家事支援に特化した那覇市独自の訪問介護サービスです。食事や入浴介助等の身体介護は行いません。介護職に興味のある18歳以上の方なら、無資格・未経験でもどなたでも受講できます♪

研修は、下記の日程で開催いたします。お気軽にお問合せください!(担当：新垣)

日時 令和5年10月24日(火)～26日(木)
9:30～17:00 全3日間

場所 沖縄県立博物館・美術館 美術館講座室 (那覇市おもろまち3-1-1)



未経験者も大歓迎!



日常生活自立支援事業の生活支援員になりませんか!

日常生活自立支援事業ってなに?

認知症高齢者、知的障がい者・精神障がい者の方々に、判断能力が不十分な方との契約に基づき、社会福祉協議会が①福祉サービス等の利用のお手伝い②日常的な金銭管理のお手伝い③書類等の預かりサービスを行います。

生活支援員ってどんな事をするの?

- ① 定期的 (週に1回～月に1回程度) に生活費や小遣いを届ける。
- ② 公共料金や病院代の支払いを代行する。
- ③ コミュニケーションを通じて相談や要望を聞くなど。

どうやったら生活支援員になれるの?



那覇市社会福祉協議会 / 日常生活自立支援事業 詳しくは金城までお問い合わせ下さい! (直通 098-857-4525)

なは社協 相談窓口のご案内

ふれあい福祉相談室 ☎ 857-7780

生活上の心配ごと、悩みごと、どのようなことでも気軽に相談できる一般相談・司法書士相談があります。(秘密は厳守で相談は無料です)

生活福祉資金貸付事業 低所得者世帯、障がい者世帯、高齢者の属する世帯に対する資金貸付

司法書士専門相談 毎月第2金曜日 / 午後2時～4時 **予約制**
弁護士専門相談 奇数月第4金曜日 / 午後2時～4時 **予約制**

ボランティア活動・行事用保険 ☎ 857-7766

ボランティア活動・行事用保険は、ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや賠償を補償します。

デイサービスあしびなー ☎ 080-1739-1355

利用者の方々が住み慣れた地域から通い、日々、生きがいのもてる暮らしを応援し、ご家族の身体的、精神的な負担を軽減します。

障がい者生活支援センター「ゆいゆい」 ☎ 891-8454
FAX.857-6052
在宅で生活する障がい者が「自分らしく」暮らしていけるように支援をしています。
● ピア (同じ仲間) サポート ● サービス利用計画の作成

地域福祉権利擁護センター ☎ 857-4525
FAX.857-6052
日常生活自立支援事業
認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者などで、自分で判断することが難しい方々の福祉サービスの利用手続きや、医療費・公共料金の支払い等の日常的な金銭管理のお手伝い、書類の預かりサービスを契約に基づいて行っています。

居宅介護支援事業 ☎ 891-8236
FAX.859-8388
安心して在宅生活が営めるように、家族、医療、介護保険サービス事業所等と連携を図ると共に、社会資源を活用しながら支援を行ないます。

ホームヘルプステーションわかば ☎ 859-8383
FAX.859-8388
ご自宅に介護専門職が訪問し、身体介護及び生活支援サービスを提供します。
● 訪問介護 ● 総合事業 ● 障がい福祉サービス

広告

医療保険療養費支給申請ができます

ご自宅や介護施設まで出張施術します

沖縄本島全域、および宮古島、伊良部島、石垣島、八重山諸島、久米島、伊江島で訪問治療します。

治療内容 はり、お灸、マッサージ

琉球治療院 詳しくはwebを検索! 検索 お気軽にお問い合わせください 【営業時間 9:00～18:00】 ☎ 0120-680-006

那覇市社協関連 10月11月の主な行事



10/1(日) 赤い羽根共同募金運動スタート(出発式)

10/13(金) 第47回那覇市社会福祉大会

10/24(火)~26(木) 生活支援訪問型サービス従事者養成研修

ボランティア Box 取組・個人団体紹介



- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1. 沖縄県環境部自然保護課 | 5. 沖縄ビル管理株式会社 |
| 2. 那覇第3民生委員児童委員協議会 | 6. 那覇市こどもみらい課 |
| 3. 南部医療センター・こども医療センター | 7. 島袋道子 |
| 4. 首里大名町自治会 | 8. 仲西 (敬称省略) |



那覇第3民生委員児童委員協議会



寄附贈呈式が行われました

那覇市の前副市長・久場健護様より寄附を頂きました。久場様から「那覇市の地域福祉活動のために活用してください。」とお話があり、本会・川満会長へ手渡されました。居場所づくりや見守り活動などの福祉活動に、大切に活用させていただきたいと思っております。(担当：港川)

「もったいない」を「ありがとう」に変える

フードドライブ

ご家庭で、使いきれずに保管したままになっている「もったいない食品」などを、那覇市内の郵便局窓口(郵便専門局は除く)にある「フードボックス」へ寄贈ください!

那覇市内にある子どもの居場所などでおいしい食事として活かされます。

ご寄付いただきたい食品 ※保存がきくもの(アルコールは不可)

お米・粉もの・缶詰・レトルト食品
 インスタントラーメン等の乾麺・お菓子
 缶やペットボトルに入った飲料など



ご協力をお願いします!



寄付食品の条件

- 未開封の食品 (包装や外装が破損していないこと、中身に異常がないもの)
- 常温で保存が可能な食品
- 賞味期限が1か月以上残っている食品 (賞味期限が明記されているもの)
- 製造者名が記載されている食品
- お米は精米日から一年以内のもの

※お寄せいただいた食品について、腐敗等、使用に適さないと判断した場合には、処分させていただくことがありますのでご了承ください。

(担当：子どもと地域をつなぐサポートセンター系)

寄附者ご芳名

令和5年8月1日~
 令和5年8月31日までの
 寄附金状況(敬称省略)

574,729円

一般寄付

- ・小禄こども未来会
- ・小野建沖縄(株)中部センター
- ・小野建沖縄(株)西崎センター
- ・沖縄看護専門学校
- ・クラウドライク(株)
- ・匿名他

おきぎんスマート

- ・ちばりよーな~ふぁ 13件 / 7,100円
- ・な~ふぁゆいまーる 22件 / 21,000円

令和5年4月1日~令和5年8月31日

寄付金総額

5,176,618円